

WEEKLY SIGNAL

平成27年5月8日(金) 1273号

上田八木短資株式会社

来週の市場とレート予想

	5/11(月)	5/12(火)	5/13(水)	5/14(木)	5/15(金)
無担保O/N		0.030% ~ 0.125%			
銀行券	+ 3,400	+ 3,000	+ 3,000	+ 1,000	ト ン
財政他	△ 3,100	△ 12,000	△ 2,000	△ 38,000	+ 14,000
資金需給	余 300	不 9,000	余 1,000	不 37,000	余 14,000
主な要因		国庫短期証券発行・償還(3M) 10年物価連動債発行	源泉税揚げ 交付税特会借入・償還	国庫短期証券発行・償還 (6M) 国債発行(10年)	国債発行・償還(2年) 社会保障費給付
オペ期日	共通担保(全店) △ 2,200 CP等買入 △ 500				
オペスタート	共通担保(全店) + 1,600 国債買入 + 8,000		CP等買入 + 3,500		
(日本)		マネタリーベースと日本銀行の取引(4月) 営業毎旬報告 (5月10日現在) 景気動向指数(3月) コール市場残高(4月)	佐藤健裕日銀審議委員講演 (FIAジャパン金融市場会議) 国際収支(3月) 景気ウォッチャー調査(4月)	対外対内証券売買 マネーストック(4月)	黒田東彦日銀総裁講演 (読売国際経済懇話会) 消費動向調査(4月)
(海外)	欧 EU財務相会合 (ユーログループ、ブリュッセル) 英 イングランド銀行金融政策 発表	米 財政収支(4月) 米 サンフランシスコ連銀総裁講演 欧 EU財務相理事会 (ブリュッセル)	米 MBA住宅ローン申請指数 米 小売売上高(4月) 米 輸入物価指数(4月) 欧 ユーロ圏1-3月GDP	米 新規失業保険申請件数	米 NY連銀製造業景況指数 (5月) 米 シガン大学消費者マインド 指数(5月) 米 対米証券投資(3月)

【インターバンク市場】

無担保ターム物	予想レンジ
SPOT 1M	0.070 ~ 0.120
SPOT 2M	0.117 ~ 0.125
SPOT 3M	0.118 ~ 0.135
SPOT 6M	0.130 ~ 0.150

<インターバンク>

今週の日銀当座預金残高は、7日に法人税揚げ等の影響により先週末対比4兆円減少し204兆円台となった。8日には日銀による潤沢な資金供給によって208兆円台まで増加した。7日の無担保コールON物は0.063~0.065%を中心に推移し、8日には週末要因もあり一部0.07%の出合いも見られた。ターム物は、1W物で0.117%の出合いが中心であった。7日に発表された4月のマネタリーベース月末残高は前月末比3.4%上昇の305兆8,771億円となり、9ヶ月連続で過去最高を更新した。3月末の時点から約10兆円増えて月末残高としては初めて300兆円を超えた。

来週の材料は、国内では佐藤日銀審議委員講演(13日)、国際収支(13日)、黒田日銀総裁講演(15日)、海外ではユーロ圏1-3月期GDP(13日)、米小売売上高(13日)などが挙げられる。

【オープン市場】

NCD 3M	0.090 ~ 0.120
CP3M(a-1+)	0.080 ~ 0.090
TDB 3M	△0.010 ~ 0.010
現先(on/1w)	0.060 ~ 0.100

<CP>

今週の入札発行額は約1,000億円で、期落ち額約3,500億円(金融機関・ABCP除く)を下回った。連休明けの案件は前倒しで発行されたため、今週の発行は閑散としていた。今週のa-1格相当銘柄の入札発行レートは、0.080%近辺~0.110%近辺とほぼ横這いで推移した。現先レートの中心は、0.060%~0.100%程度で推移した。来週の期落ち額は約8,500億円となっている。

<TDB>

8日に国庫短期証券3M第530回債の入札が行われたが、最高落札レートは△0.0020%(前回債△0.0020%)、平均落札レートは△0.0036%(前回債△0.0058%)と前回債から利回りほとんど変化は見られなかった。セカンダリーは3Mで△0.004%近辺の出合い。6M、1Yは目立った出合いが見られなかった。来週12日に6M、14日に3Mの入札が行われる予定である。

<レボ>

足許GCは先週初0.03台半ば~0.04%台の出合いと低めの水準から始まった。その後は短国3M、2Y債の発行等の要因により、0.06%台~0.08%台の出合いで推移した。また先週末には短国買入オペが2兆2500億オファーされるも、レート低下幅は限定的でSNでは0.06%~0.07%の出合い、TNでは0.08%台半ばでの出合いとなった。連休明けは業者のポジションが軽く資金調達ニーズが限定的で0.06台近辺の出合となった。今週末には短国3Mが入札されるも業者のポジションは引続き軽く0.05%台の出合いとなり越週した。SCは10年337回債、338回債がO/N物・ターム物ともに週を通してネガティブレートで推移した。2年債は351回債、5年債は122・123回債、10年債は323・325・328・329・336・337・338回債に引合いが多く見られた。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。